

JF大分

水産おおいた

発行元 大分県漁協

2年度

5名が

正職員に

4月1日（月）に水産会館で辞令交付式が行われた。今年度は、新卒1名、正職員登用者4名が

出席した。

集合写真後列左から、

蛭子亨平さん（水産物加工処理施設、正職員）、

中西昭洋さん（上浦支店、正職員）、松久栄志さん

（本店、正職員）、須川

晃汰さん（本店、新卒）、



鶴原枝里さん（白杵支店、正職員）です。今後の活躍を期待します。



2年度辞令交付式

コロナ対策本部設置

新型コロナウイルス感染症の拡大に対応し、4月1日付けで県漁協に「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置した。

本部では、県下漁業関係の情報共有を図り迅速かつ的確な対策を講じることを目的としている。実施事項は次のとおり。
1 県下漁業関係の状況把握と対応に関するこ
と、2 感染症に係る情



新型コロナに係る5海区会長会

新型コロナウイルス対策に係る五海区会長会

報共有に関すること、3 感染症に係る対応体制に関すること、4 感染症に係る関係機関との情報共有及び連絡調整に関すること等である。

構成は、本部長に代表理事組合長、委員に専務理事、参事、総務部長、経済事業部長、信用事業部長、監事に常勤監事としている。

組合員からの情報収集や要望等については、本部が示す様式「情報提供等受付対応記録簿」により本部に報告することとしている。漁業現場での正確な情報を迅速に提供してください。

を4月15日に開催し、本部の設置趣旨と現場での状況調査結果について議論し、各支店への周知と正確な情報提供を依頼した。

2年度水産庁補正予算

農林水産省が令和2年度水産関係補正予算の概要を示した。

主な項目は、経営維持・

再建のための資金繰りの確保に32億円（実質無利子化・無担保化等）、

漁業収入安定対策の拡充等に102億円（積立ぶ

らすの基金の積み増し、

仮払い・積立猶予）、特

定水産物供給平準化事業

に32億円（コロナ感染

拡大の影響を受ける魚種

の過剰供給分の買取資

金、保管料等の支援）、

入国規制による外国人材の不足等に対応した労働力の確保に3億円（人材確保や外国人船員の継続雇用等支援）、その他（水産物の販売促進、飲食業の需要喚起）である。予算成立後は、使えるものは積極的に活用していくことが必要。

人事異動

人事異動が5月1日付けで行われた。

（下入津支店）信用・

購買担当 木許絵美、販

売係 菅谷統吾（臨時）

県産魚の消費拡大

新型コロナウイルス感

染が全国的に拡大する中、水産物の需要減退と魚価の下落が継続しており漁業経営に非常に大きな影響が出ている。

このため、4月24日の県産魚の日に明野アクリスのおさかなランドで地魚の消費拡大の取組を行った。地元で水揚げされたマアジ、マサバ、サ

ザエ、モイカ、養殖ヒラメ、かぼすヒラマサなどの魚介類の特設コーナーを今後とも引き続き設置していく予定である。

編集後記

新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発せられ、水産業界での影響が長期化・拡大している。一日でも早く沈静化して欲しい。